

通所介護実態調査 調査結果（概要/全体版）

H24.1.25

- ・調査目的・・・基準の条例委任検討のための実態把握及び宿泊サービスの実態把握
- ・調査期間・・・H23.11.18～H23.12.12
- ・調査対象日・・・H23.11.30（お泊りデイサービスの実態把握については、11月の1ヶ月間）
- ・調査対象・・・1,561事業所（H23.11.1時点、介護予防通所介護事業所を含み、療養型通所介護を除く。）
- ・調査回答数・・・1,342事業所（H24.1.25時点、お泊りサービス実施は122事業者）
- ・調査回答率・・・85.97%

※比率は回答事業所数を母数として計算

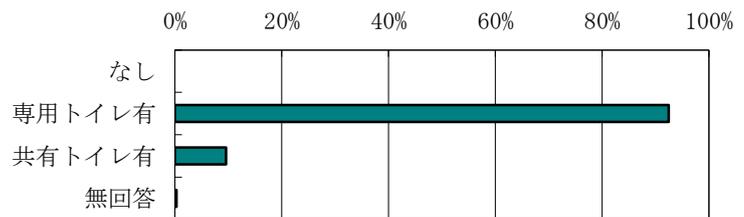
※「11 宿泊サービスの運営状況について」以降はお泊りサービス実施122事業者のみ回答

1 トイレ・洗面設備の整備について

①トイレ（複数回答有）

なし	0事業所	0.0%
専用トイレ有	1,241事業所	92.5%
共有トイレ有	128事業所	9.5%
無回答	4事業所	0.3%

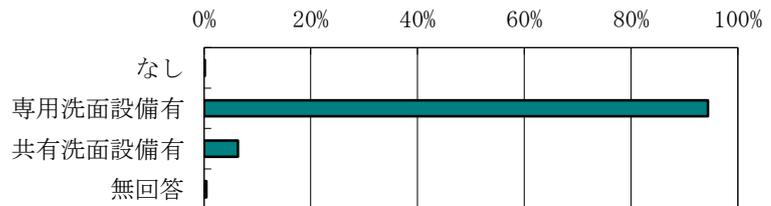
共有先・・・併設介護保険事業所、併設施設等



②洗面設備（複数回答有）

なし	2事業所	0.1%
専用洗面設備有	1,267事業所	94.4%
共有洗面設備有	85事業所	6.3%
無回答	6事業所	0.4%

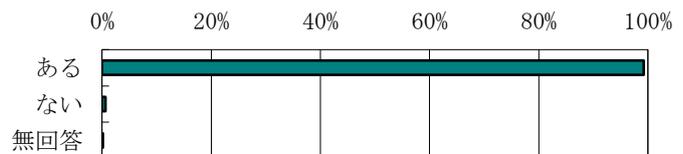
共有先・・・併設介護保険事業所、併設施設等



2 パソコン・プリンター・鍵付き書庫の整備について

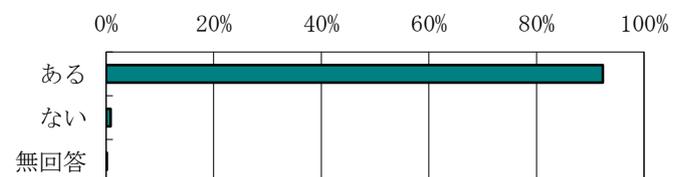
①パソコン

ある	1,332事業所	99.3%
ない	8事業所	0.6%
無回答	2事業所	0.1%



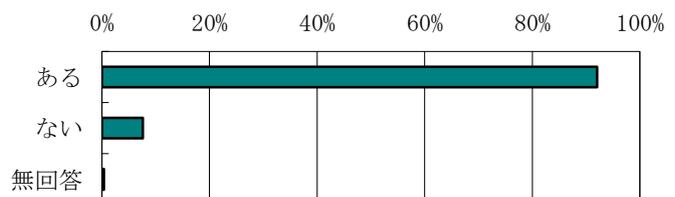
②プリンタ

ある	1,329事業所	92.3%
ない	11事業所	0.8%
無回答	2事業所	0.1%



③鍵付き書庫

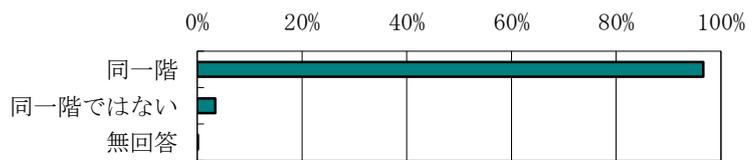
ある	1,235事業所	92.0%
ない	102事業所	7.6%
無回答	5事業所	0.4%



3 静養室について

① 食堂兼機能訓練室と静養室は同一階か（複数回答有）

同一階	1,297事業所	96.6%
同一階ではない	46事業所	3.4%
無回答	2事業所	0.1%

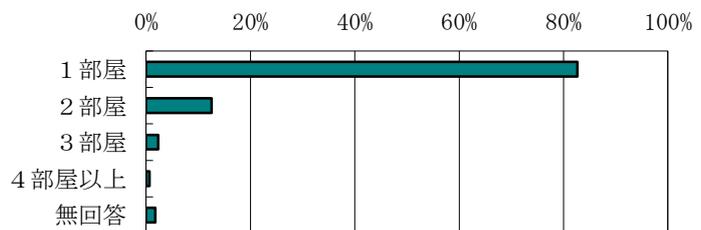


② 食堂兼機能訓練室と静養室が同一階でない場合の見守り体制

- ・介護職員による見守り、巡回
- ・事務職員による見守り
- ・ブザーの設置 等

4 1単位あたりの食堂兼機能訓練室の部屋数について

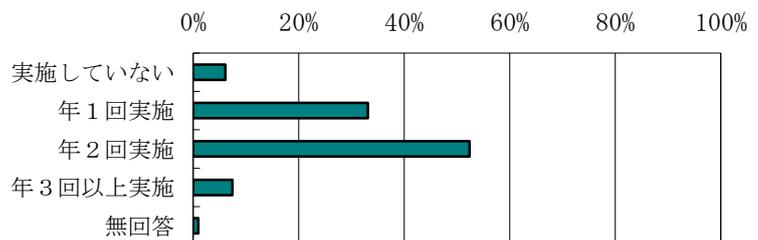
1部屋	1,109事業所	82.6%
2部屋	169事業所	12.6%
3部屋	31事業所	2.3%
4部屋以上	9事業所	0.7%
無回答	24事業所	1.8%



5 非常災害対策について

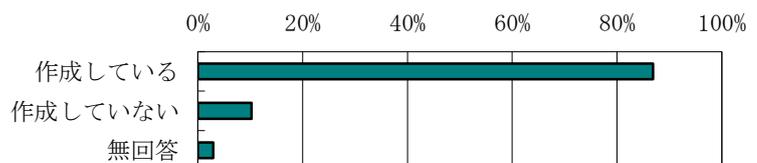
① 避難・救出訓練の実施状況

実施していない	82事業所	6.1%
年1回実施	444事業所	33.1%
年2回実施	703事業所	52.4%
年3回以上実施	100事業所	7.5%
無回答	13事業所	1.0%



② 消防計画等の作成の有無

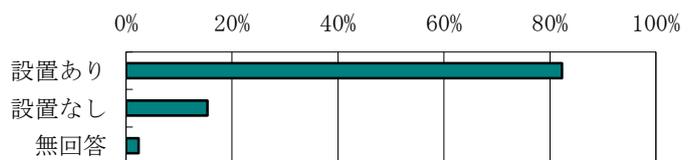
作成している	1,166事業所	86.9%
作成していない	137事業所	10.2%
無回答	39事業所	2.9%



6 消火設備の設置について

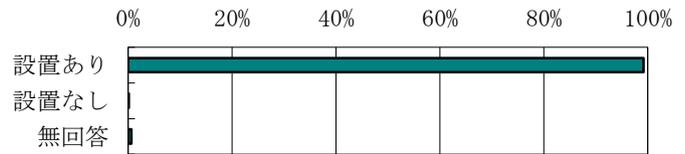
① 防火対象物品の使用（防火カーテン等）

設置あり	1,104事業所	82.3%
設置なし	206事業所	15.4%
無回答	32事業所	2.4%



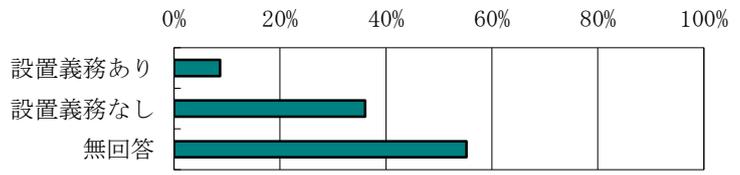
②消火器

設置あり	1,331事業所	99.2%
設置なし	2事業所	0.1%
無回答	9事業所	0.7%

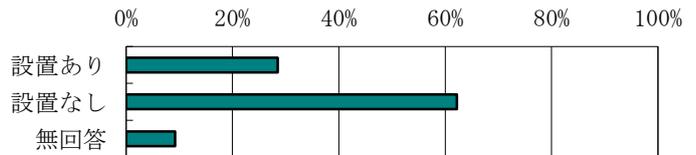


③スプリンクラー設備

設置義務あり	117事業所	8.7%
設置義務なし	484事業所	36.1%
無回答	741事業所	55.2%

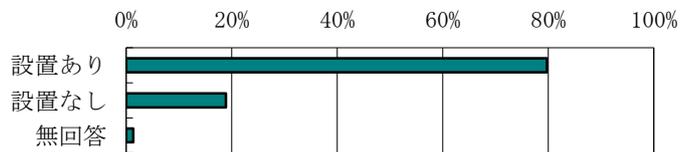


設置あり	383事業所	28.5%
設置なし	835事業所	62.2%
無回答	124事業所	9.2%



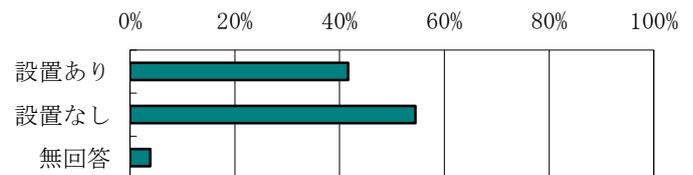
④自動火災報知機設備（住宅用を除く）

設置あり	1,070事業所	79.7%
設置なし	254事業所	18.9%
無回答	18事業所	1.3%



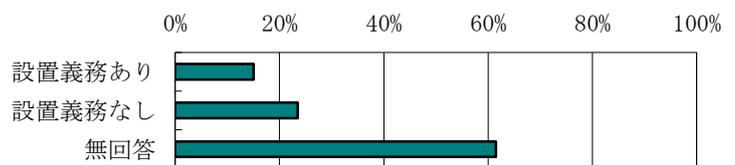
⑤漏電火災警報機

設置あり	559事業所	41.7%
設置なし	731事業所	54.5%
無回答	52事業所	3.9%

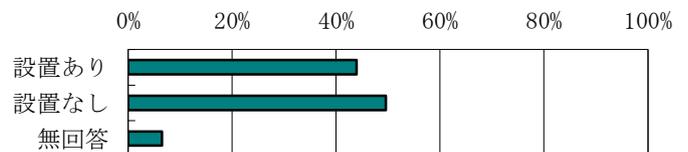


⑥消防機関への火災通報装置

設置義務あり	202事業所	15.1%
設置義務なし	315事業所	23.5%
無回答	825事業所	61.5%

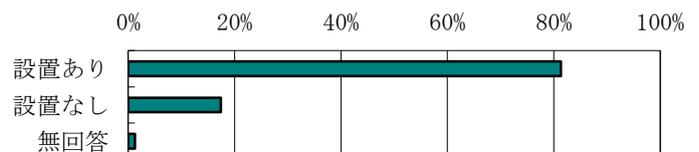


設置あり	590事業所	44.0%
設置なし	665事業所	49.6%
無回答	87事業所	6.5%



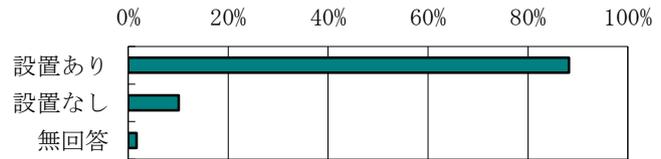
⑦誘導灯

設置あり	1,091事業所	81.3%
設置なし	234事業所	17.4%
無回答	17事業所	1.3%



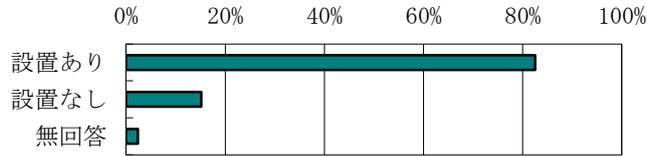
⑧消防点検の有無

設置あり	1,184事業所	88.2%
設置なし	136事業所	10.1%
無回答	22事業所	1.6%



⑨防火管理者の選任及び届出

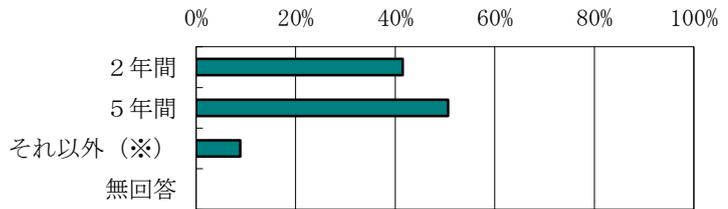
設置あり	1,107事業所	82.5%
設置なし	203事業所	15.1%
無回答	32事業所	2.4%



7 記録の保存について

①記録の保存年（複数回答有）

2年間	557事業所	41.5%
5年間	679事業所	50.6%
それ以外(※)	119事業所	8.9%
無回答	12事業所	0.0%



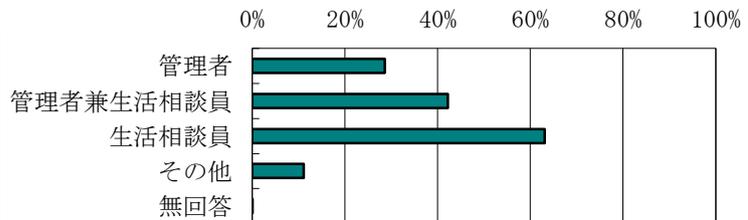
※ それ以外には、3年～永年。(開所して間もないため、2年未満(17事業所)を含む。)

②記録が5年保存になった場合のご意見（反対意見は約180件）

- ・スペースがなく保管場所が困難
 - ・書類の整理が負担
 - ・PDF化しているので問題ない
 - ・既に保管しており問題ない
- 等

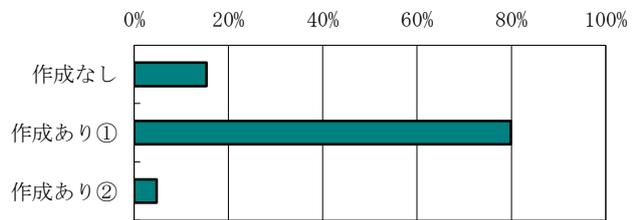
8 通所介護計画の作成者について（複数回答可）

管理者	384事業所	28.6%
管理者兼生活相談員	567事業所	42.3%
生活相談員	847事業所	63.1%
その他	149事業所	11.1%
無回答	1事業所	0.1%



9 広告の作成について

作成なし	206事業所	15.4%
作成あり① (適切な内容である)	1,072事業所	79.9%
作成あり② (適切な内容であるか 自信がない)	64事業所	4.8%



10 宿泊サービスの実施について

ある	122事業所	9.1%
なし	1,220事業所	90.9%

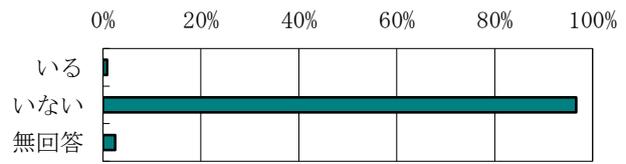


以下、お泊りサービス実施122事業者のみ回答

1.1 宿泊サービスの運営状況について

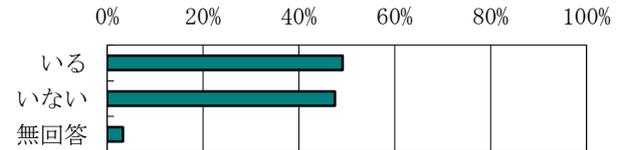
①旅館業許可をとっているか

いる	1事業所	0.8%
いない	119事業所	97.5%
無回答	2事業所	1.6%



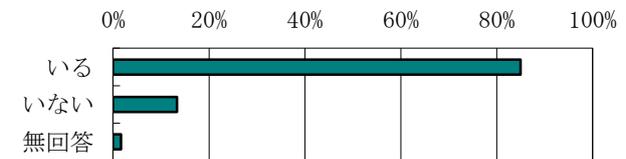
②通所介護事業所とは別の運営規程を作成しているか

いる	60事業所	49.2%
いない	58事業所	47.5%
無回答	4事業所	3.3%



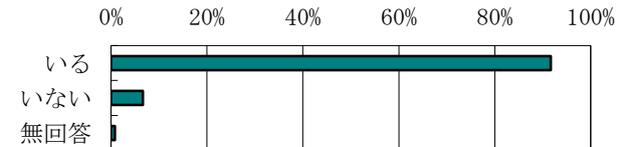
③通所介護事業所とは別の利用契約を締結しているか

いる	103事業所	84.4%
いない	17事業所	13.9%
無回答	2事業所	1.6%



④通所介護事業所とは別のサービス提供記録をとっているか

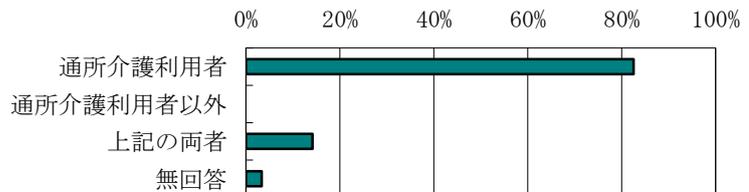
いる	112事業所	91.8%
いない	9事業所	7.4%
無回答	1事業所	0.8%



1.2 宿泊サービスについて

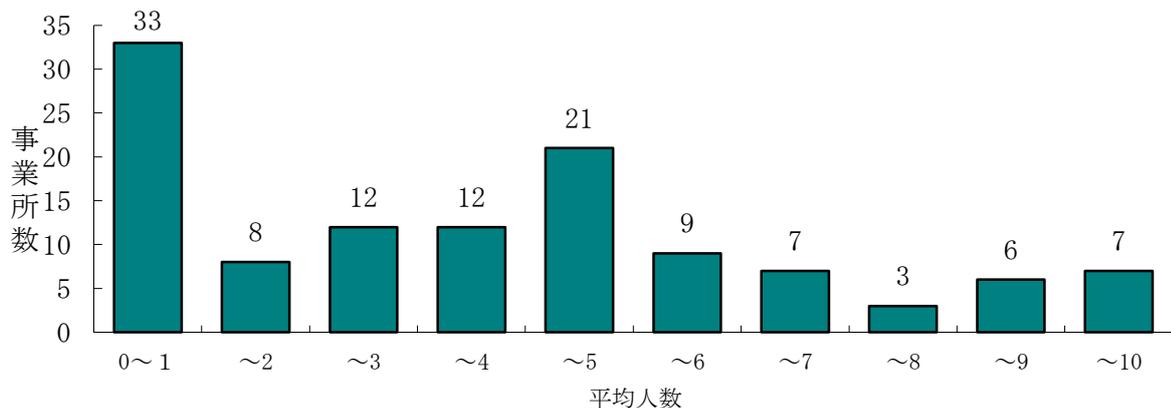
①宿泊対象者

通所介護利用者	101事業所	82.8%
通所介護利用者以外	0事業所	0.0%
上記の両者	17事業所	13.9%
無回答	4事業所	3.3%

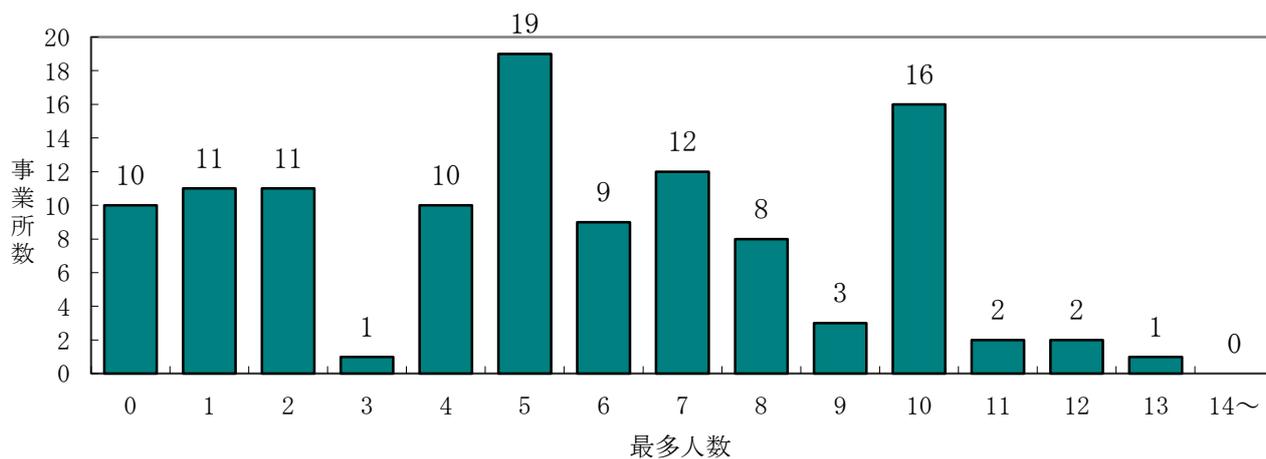


②11月における1日あたりの利用人数

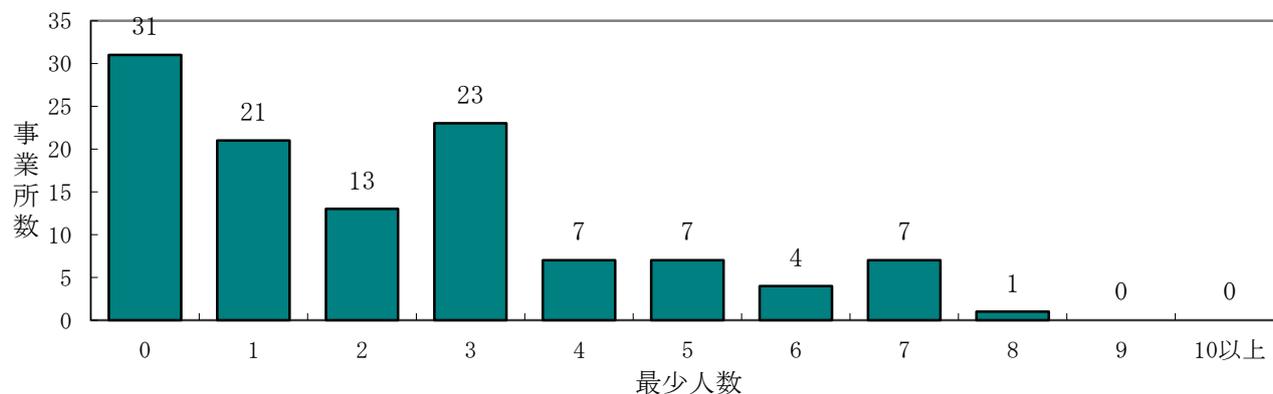
・11月における1日あたりの平均人数 (無回答・・・4事業所)



・11月における1日あたりの最多人数 (無回答・・・7事業所)

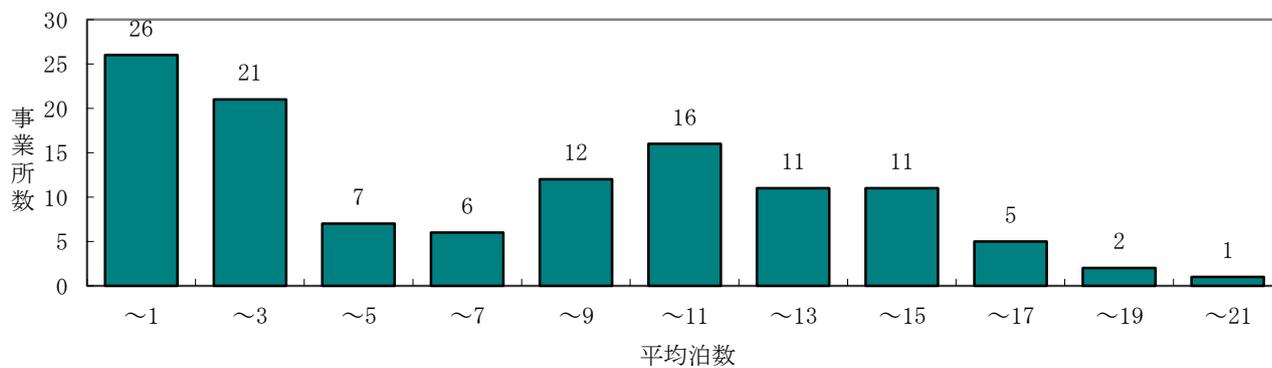


・11月における1日あたりの最少人数 (無回答・・・8事業所)



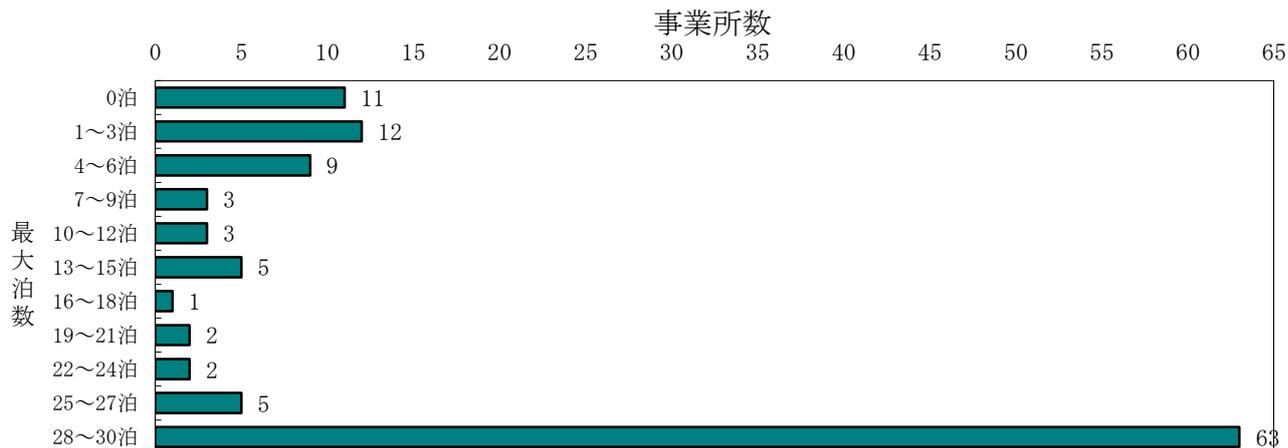
③11月における1人あたりの利用宿泊数

・11月における1人あたりの平均泊数 (無回答・・・4事業所)



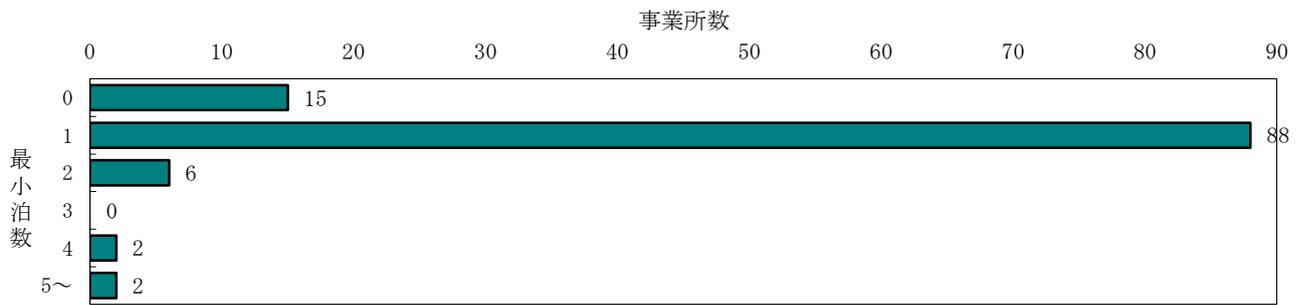
・11月における1人あたりの最大泊数

(無回答・・・6事業所)



・11月における1人あたりの最小泊数

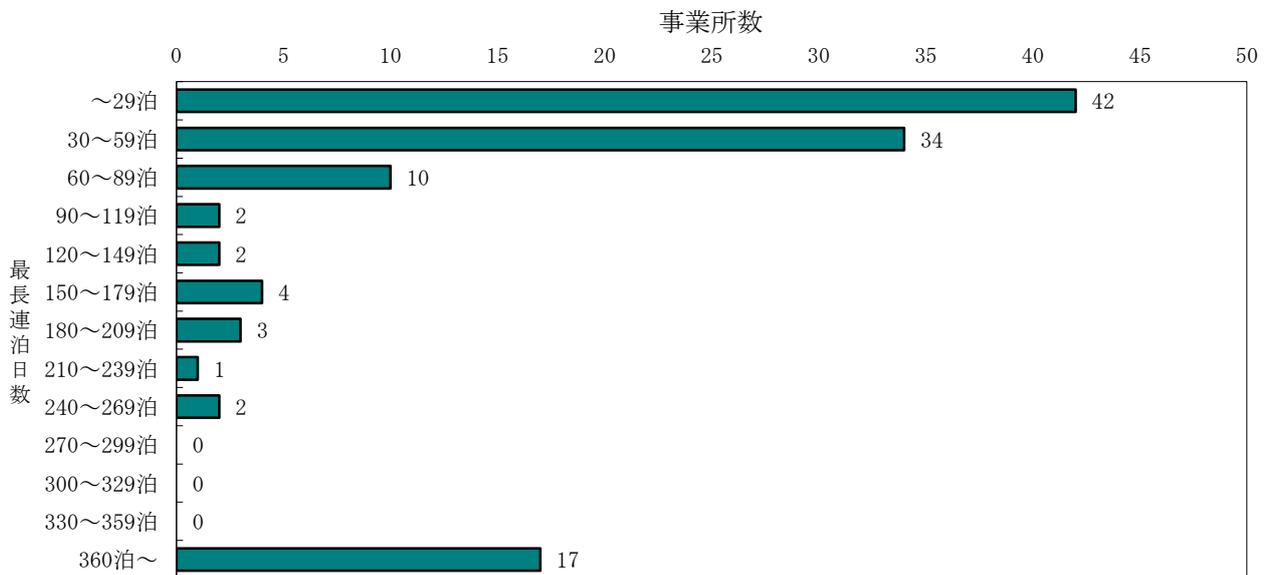
(無回答・・・9事業所)



※5泊以上・・・9泊(1事業所)、15泊(1事業所)

④ 1人あたりの最長連泊日数

(無回答・・・5事業所)



⑤ 連泊制限がある場合の日数

・制限の有無

制限あり(※)	31事業所	25.4%
制限なし	87事業所	71.3%
無回答	4事業所	3.3%



※1日(1事業所)、2日(2事業所)、3日(6事業所)、5日(2事業所)、6日(3事業所)、7日(1事業所)、10日(2事業所)
14事業所(3事業所)、29日(2事業所)、30日(1事業所)31日(2事業所)、60日(3事業所)、90日(3事業所)

1.3 建物・宿泊数の状況について



① 建物の種別

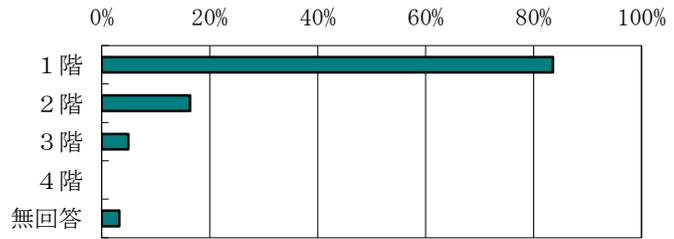
戸建て住宅	98事業所	80.3%
集合住宅	10事業所	8.2%
その他	14事業所	11.5%



② 宿泊室がある階数（複数回答有）

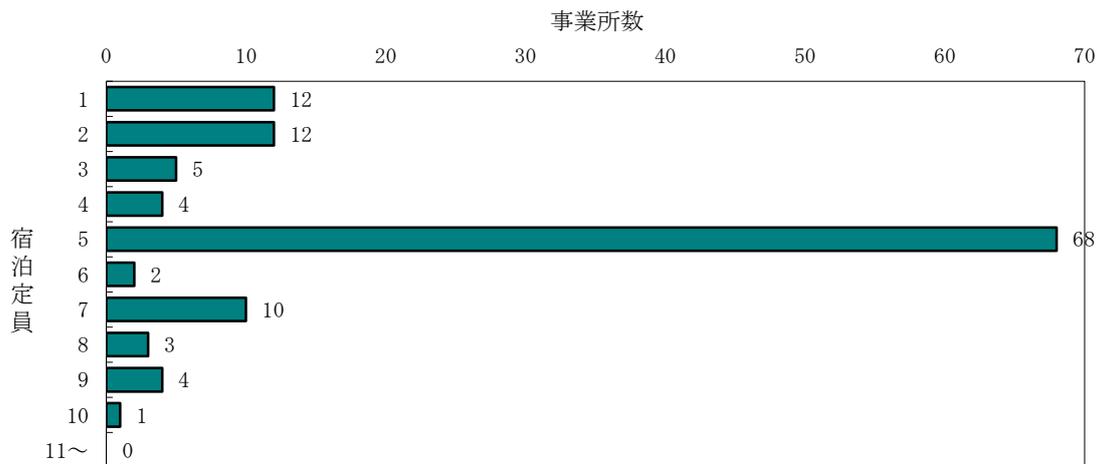
1階	102事業所	83.6%
2階	20事業所	16.4%
3階	6事業所	4.9%
4階	0事業所	0.0%
無回答	4事業所	3.3%

※ その他回答・・・9階(1事業所)

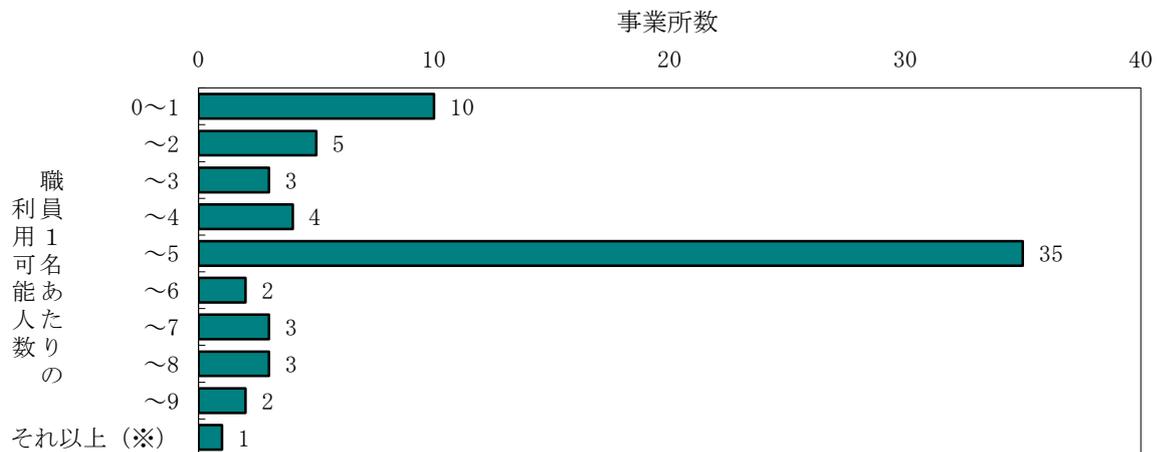


③ 宿泊定員

・ 宿泊定員 (無回答・・・1事業所)



・ 職員1名あたりの利用可能人数（職員配置体制により利用可能人数に変動がある場合）



※ 職員1人あたり25名(1事業所)

④ 宿泊室の数・広さ

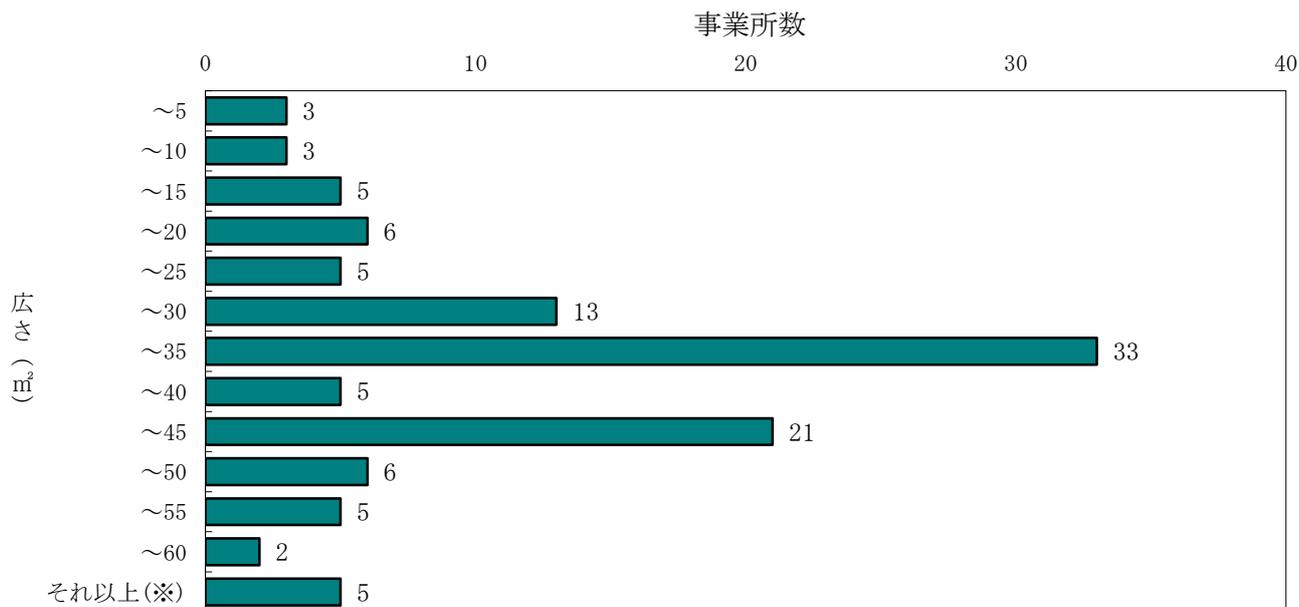
・ 部屋数（複数回答可）

個室	35事業所	28.7%
二人部屋	28事業所	23.0%
その他	83事業所	68.0%
無回答	5事業所	4.1%



・ 宿泊室の広さ（1事業所における各部屋の総合計面積）

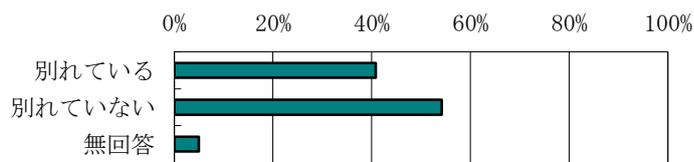
（無回答・・・10事業所）



※ 65㎡(1事業所)、87.9㎡(1事業所)、90㎡(1事業所)、121.3㎡(1事業所)、131㎡(1事業所)

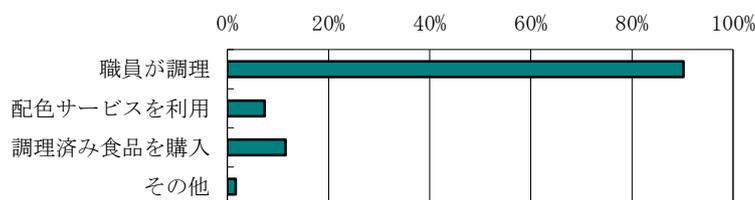
⑤ 部屋は男女別か

別れている	51事業所	41.8%
別れていない	66事業所	54.1%
無回答	5事業所	4.1%



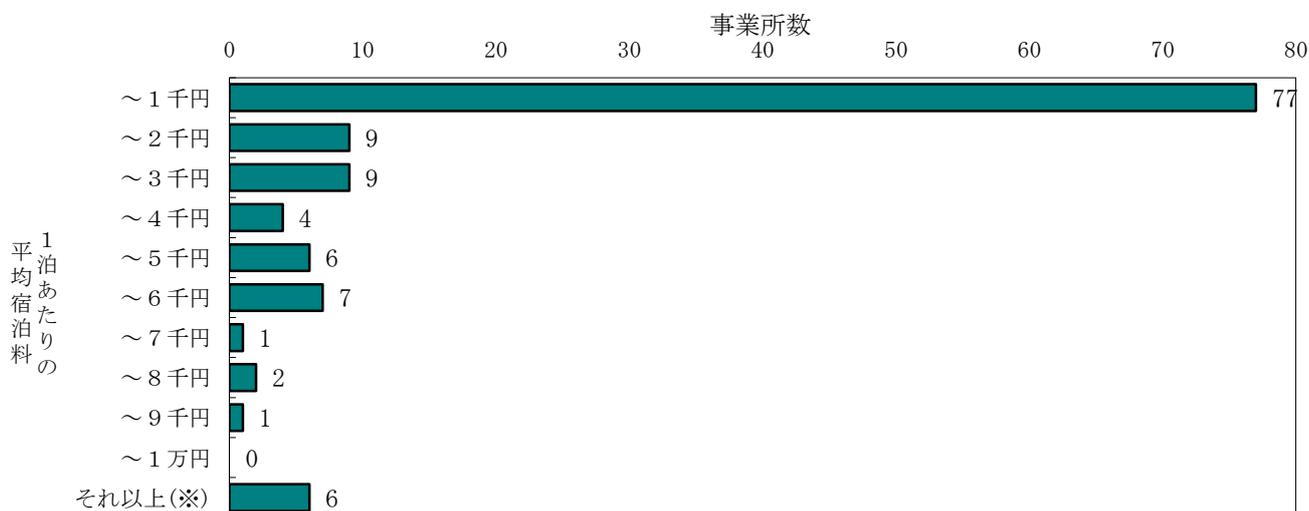
1.4 食事の提供方法（複数回答可）

職員が調理	110事業所	90.2%
配色サービスを利用	9事業所	7.4%
調理済み食品を購入	14事業所	11.5%
その他	2事業所	1.6%



1.5 利用料について

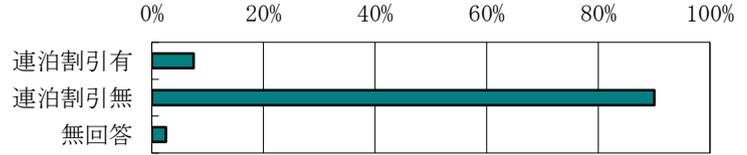
① 1泊あたりの平均宿泊料



※12,000円(3事業所)、13,000円(3事業所)

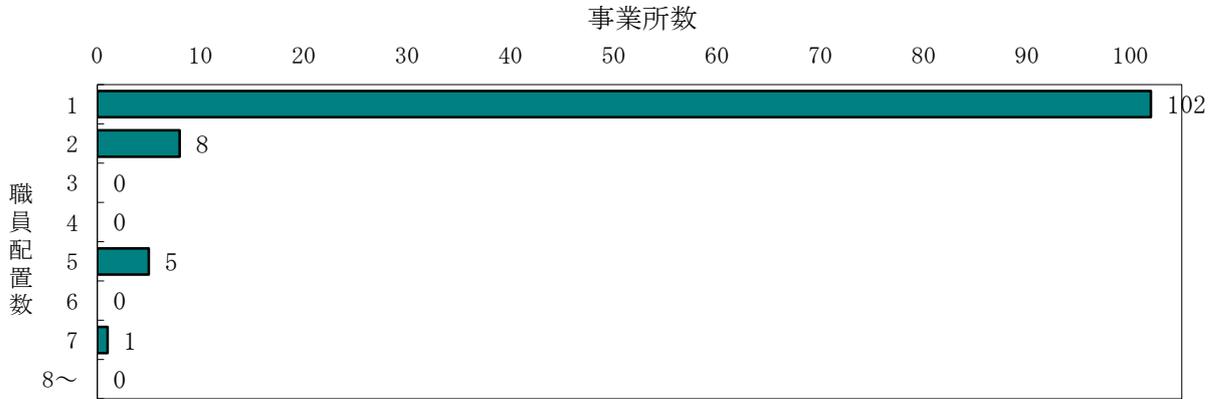
②連泊割引の有無

連泊割引有	9事業所	7.4%
連泊割引無	111事業所	91.0%
無回答	2事業所	1.6%



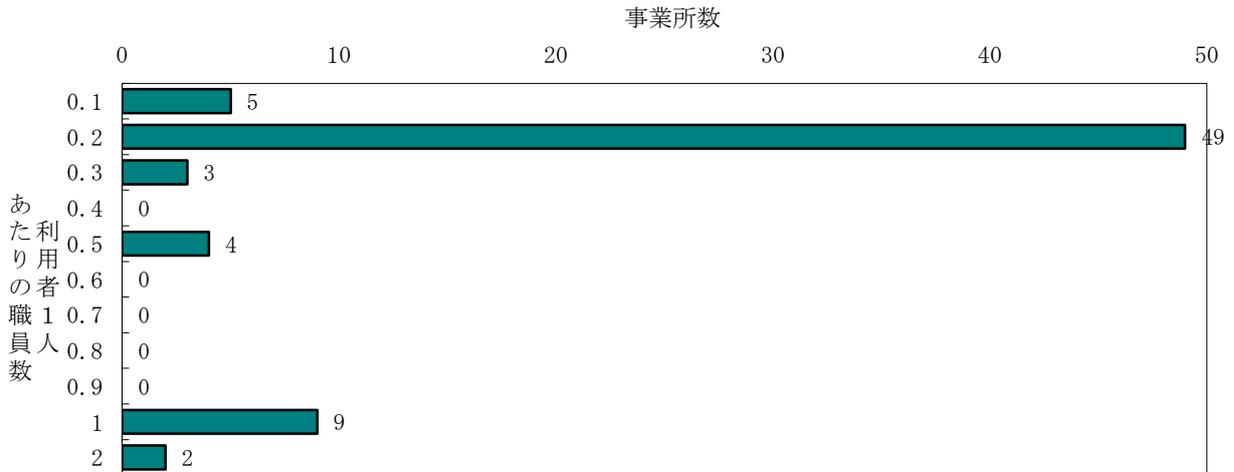
16 宿泊時間帯の職員の配置状況等について

①職員配置数 (無回答・・・4事業所)



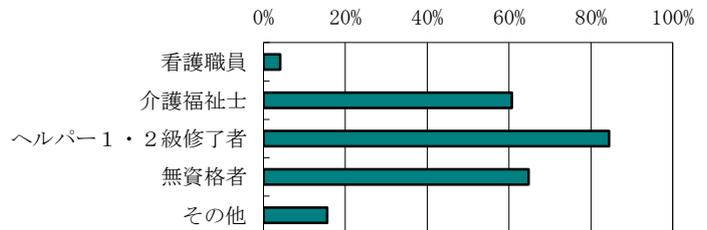
その他の回答・・・1～2人(1事業所)、1～3人(1事業所)

利用者1人あたりの職員数 (宿泊者数により変動がある場合)



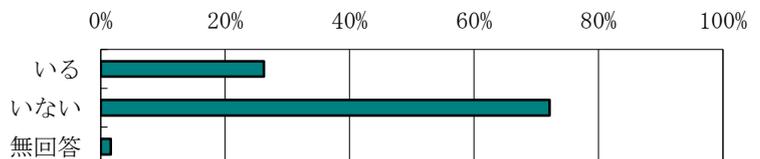
②夜勤職員の資格 (複数回答有)

看護職員	5事業所	4.1%
介護福祉士	74事業所	60.7%
ヘルパー1・2級修了者	103事業所	84.4%
無資格者	79事業所	64.8%
その他	19事業所	15.6%



③緊急時対応のため、協力医療機関を位置づけているか

いる	32事業所	26.2%
いない	88事業所	72.1%
無回答	2事業所	1.6%



17 宿泊サービスに関するご意見

(全18件)

○介護者の急変による緊急対応のみしている。家族やケアマネの心労を考えると必要ではないかと思う。急なショートやショート延長がなかなか取れないようだ。また当事業所は民家のデイサービスのため認知症の方には混乱がないようだ。当法人では小規模多機能型居宅介護事業所を開所する予定なので、そちらのサービスへの移行が良い場合はご説明しようと考えている。

○介護の急用、急病等緊急時の対応のみとするべき。

○介護保険の適用をお願いします。

○家族の急病や法要などの突発的な行事で不在となるときその時点の通所利用者家族およびご本人の希望で宿泊を保険外事業で行ったことがあります。緊急時ショートステイは使えず、また普段利用していない施設に泊まるのは利用者の不安と混乱の素でもあり、今後もこの形で実施したいと考えております。

○冠婚葬祭や突発的な用事のみが良いと思います。夜間帯は人件費と事故災害の問題があり事業者としてはリスクが高い。困っている利用者と考え、現在行動中です。

○グループどもの自主事業として緊急の場合のみ宿泊(会員制)としている。

○現在、ナイトサービスを行っている事業所で意見交換し始めた。原因から問題点の抽出及び整理を行う必要がある。

○ご家族での緊急時のみ対応のため月に1~2回程度となっている。今後、回数が増えた場合どこまで受けて良いものか疑問。

○ご家族の状況を鑑みて、柔軟な運用をお願いします。

○ご利用される方そのご家族様からとても喜ばれている。利用者にとって個室でプライベートがあるとか静かであるということよりも人がいて声が聞こえる方が安心して寝れるという事をよく耳にします。当事業所では平均3名様の利用を職員1名でケアをし必ず20分に1回は安否確認を行っている。又、担当制で緊急時は必ず連絡がとれるようにし、夜勤者の不安を解消している。今後も安全安心も最重要項として取り組んでいきます。

○ショートステイによるご利用者のADL低下によりナイトサービスを始めた。ショートステイの見直し(廃止)により、小規模多機能事業への移行及びデイサービスでの宿泊許可が必要と考える。現段階では様々な企業が行っており大きな問題が起きてからの対応では遅いと考える。

○短期入所がなかなかとれないという所での利用が8割です。今後も緊急時や臨時での利用が見込まれます。安全を考えて今は日中のデイで使っている方の利用に限定しています。そういった方向で今後も続けていきたいと考えています。

○他事業所の短期入所など利用できずやむを得ない状況の場合のみ対応。また対応する場合はケアマネとも

充分相談しながら実施。過去3年間においては実施されていない。

○他にも安価な施設を多く認可して欲しい。

○施設ショートだと緊急時の受入れができないとCM,FAからの話が多く宿泊サービスのニーズが増える。

○自主事業として、緊急時(ご家族の急な入院や外泊)通所介護利用者に限定のサービスであり収支は考えて

いない。現状では年間2~3件の依頼に対応できている。(緊急で介護保険でのショート利用などが無理なケ

ース)通所サービスの事業所なので、スタッフ人員配置等の問題もあり連泊は不可とさせていただいている。今後も利用者主体のサービス(緊急時)と考えて収支は考えていない。

○以前より宅老所を行っており現在は有料老人ホームの届出が必要との事で横浜市高齢健康福祉部施設課のご

担当者様と手続きを進めていくところでもあります。宿泊サービス事業所として回答してよいのか考えたのですが記入をさせていただきました。

○利用者様ご家族からの要望が強く、11月から実施したばかりです。急でショートが取れない、ショートへの拒否が強い方など必要性は感じています。通所介護の利用回数が変わらないようケアマネと相談し利用す

以上